

将棋駒後継者の育成支援による将棋のまちの振興

(山形県 天童市)

○事例概要

- ・ 伝統的工芸品である天童将棋駒は、将棋駒の生産が低迷を続け、一時はピーク時の3割程度まで落ち込み、職人の高齢化や後継者不足といった課題を抱えていた。
- ・ このような中、平成9年から天童将棋駒後継者育成講座を開始し、書き師や彫り師の育成に着手したが、大きな改善は見られなかった。
- ・ そこで、ふるさと納税の募集に併せて将棋のまちとしてのPRを行うとともに、後継者育成講座の運営経費にふるさと納税を活用することにより、将棋駒産地としての知名度が向上し、職人の増加につながっている。



○寄付実績

平成28年度 125,289千円

平成29年度 106,129千円

※寄付実績の内訳

「将棋のまちの振興」の使途として、継
者育成講座のほか、桜まつりや将棋関連
のイベントの開催の経費に充当

○事業効果等

- ・ ふるさと納税を通じた全国へのPR等により、将棋駒の認知度が向上。将棋駒生産額はピーク時の3割程度まで減少していたが、現在では大幅に回復。

将棋駒出荷額 (S55) 471百万円、(H22) 128百万円、(H27) 300百万円

- ・ 将棋駒生産額の回復により駒職人の収入が安定したため、職人を目指す人が増加する好循環が生まれている。

講座受講者 第4期 (H22~26) 5人、第5期 (H27~31) 7人